

## 4月9日 入学式 平成30年度 第44回生が志高く、本校に入学しました。

式辞

陽春の気みなぎる今日このよき日、ご来賓の皆様、保護者の皆様方のご臨席を賜り、ここに、平成三十九年度兵庫県立西宮南高等学校第四十四回入学式を挙行できますことは、本校にとって、このうえない喜びとするところでございます。高いところからでございますが、厚くお礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百八十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがこの日を迎えることができたのは、もちろん自身の努力があつたことです。しかし、皆さんを慈しみ育ててこられたご家族をはじめ、中学校の先生方の支援、辛く苦しいときに励ましてくれた友人など、多くの方々の力添えがあつたことに感謝の気持ちを忘れてはなりません。このことをしっかり胸に刻み、本校での第一歩を踏み出してください。

さて、高校生活のスタートにあたり、皆さんに、三つのことを希望します。

第一に、自ら学ぶ姿勢を身につけ、「学び続ける人」に成長してほしいということです。皆さんは、自らの意志で高校進学を決められたことと思います。高校では、国民の義務としての教育状況から大きく変化し、自己責任に裏打ちされた行動がより求められます。今、世の中は激しく変化し、皆さんが社会で活躍する頃、人工知能やロボットの進化により職業や雇用が変化するといわれ、未知の社会に突入していきます。だからこそ高校での3年間、しっかり学び、学んだ知識を使って、自分が今何をすべきか、自ら考え、判断し、自主的・主体的に行動する力を身につけていってください。そして、「学び続ける人」に成長してほしいと思います。本校の校歌には、創立にあたってこの学校に託す思いが込められています。その最後のフレーズ「智恵みつ南」の「智恵」とは、まさに正しい判断力、物事の真実の姿を身につける力という意味です。その智恵が実る学びを期待します。

第二に、「時を守り、場を清め、礼を正す」を実践してください。これは、森信三という教育学者の言葉です。「時を守り」とは、文字通り時間を守ることです。日本人の世界に誇れる優秀さはこの「時を守る」ことです。これは集団生活の基本ですが、同時に、相手を尊重すること、それにより自分の信用を積み重ねることにつながります。「場を清め」とは身の回りをきれいにすることです。日本の学校では、清掃の時間があります。清掃をすることで、気づく人になれる、心を磨く、感謝の心が芽生えます。場力という言葉があります。きれいに磨かれた場では、気持ちよく過ごせ、心を明るくします。そして、「礼を正す」とは、挨拶と、返事をする、服装を正す、姿勢を正すことです。社会は、人と人との関係から成り立っています。日常生活で「お早う、ありがとう、失礼しました、すみません」を言葉で表してみましよう。コミュニケーションの基本は、まず挨拶からこころがけることです。人は習慣によってつくられます。「時を守り、場を清め、礼を正す」という、誰にでもできる平凡なことを徹底して続けていき、人としての大きな成長につなげてほしいと思います。

第三に、何事にも積極的にチャレンジしていこうということです。失敗をおそれるより、チャレンジしないことをおそれてください。皆さんには、一人ひとり優れた個性があり、可能性が秘められています。大きな夢を抱き、その実現に向け、努力してください。能力の差は小さいが、努力の差は大きい。継続の差はもっと大きい。夢や目標を達成するには、一つしか方法がありません。小さなことを積み重ねることです。そして、自分の中にある可能性をぜひ開花させてください。「志あれば道は開ける」若さという特権を持つ皆さんを応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。以前勤務していた学校の卒業式の答辞で、心に響いた言葉があります。「私が一番感謝の言葉を伝えたいのは、家族です。家族はいつも私を一番近くで支えてくれた存在でした。早く起きて、お弁当を作ってくれました。毎朝わざわざ家の外に出て、『行ってらっしゃい』と見送ってくれました。そして、部活動の試合にも応援に来てくれました。本当は応援してくれて嬉しかった。それなのに『恥ずかしいからやめて』と言ってしまいました。あの時は素直になれなくてごめんなさい」この言葉を聞いたとき、ご家庭での愛情の深さを感じました。保護者の皆様、高校の3年間は、人生の方向を決定する大きな時期であり、悩みも多い時期でもあります。ご家族のサポートがまだまだ必要です。私ども教職員すべてが、心を一に結束し、全力を尽くし、お子様の大いなる成長をめざし教育活動に取り組んでまいります。皆様の熱心さが、学校の支えでございます。どうか本校の教育活動にご理解、ご協力を賜ります様よろしく願いいたします。

待ちわびた希望の春、新入生二百八十名の大きな成長を祈りつつ、これをもって式辞といたします。

平成三十年四月九日

兵庫県立西宮南高等学校長 前田容子